

旧バージョンQuick-CROSS3からの変更点

機能	区分	機能名称・内容	変更内容
設問設定	新機能	選択肢、ウエイト値の入力	エクセルファイル、テキストファイルからの一括貼り付け（複数セルの貼り付け）
	仕様変更	Excel調査票出力-「クラシックUI」	Type1「クラシックUI」、Type2「スタンダードUI」2種のうちType1「クラシックUI」を廃止
データ参照	廃止	ローデータの直接編集不可	ローデータの修正を行いたい場合は「データ加工」-加工種別「データ修正」より修正が可能
データ加工	新機能	選択肢、条件値の入力	エクセルファイル、テキストファイルからの一括貼り付け（複数セルの貼り付け） ※加工種別GROUP、COMPUTE以外
	新機能	設問設定からも削除	旧バージョンでは「設問設定」ボタンより削除が必要だったデータ加工アイテムの削除が可能
	仕様変更	GROUP	MAX、MIN、AVG、SUMの4機能を1つに統合
	仕様変更	INTEGRATE	回答タイプの初期値を「SA」から「MA」に変更、元アイテムの選択可能数を5個から10個に拡大 質問文の入力必須に変更
	廃止	MTOS 処理方法「ランダム」	処理方法は「前優先」「後優先」のみとし、「ランダム」機能を廃止
	廃止	アフターコーディング	「データ結合」機能にてエクセル作業データを取り込み可能 https://www.macromill.com/tabulation/faq/07-data-capture/operation/
GT表作成	新機能	「すべて×」⇔「すべて○」	全アイテムの実行欄を×⇔○に一括切り替え可能
	新機能	出力順設定	GT表アイテムの出力の順番を変更できる機能を追加
	新機能	初期化	出力順設定等で変更した設定を初期状態に戻す
	新機能	分類アイテム	設定した選択肢ごとに絞り込みされた複数のファイルを出力可能
	新機能	出力キャンセル	実行ボタン押下後、「キャンセル」ボタンを押すことにより出力実行停止が可能
	仕様変更	ウエイトバック設定	「GT表作成」、「クロス表グラフ作成」のいずれかでを行った設定内容を共有、Orgアイテム（既存アイテム）の設定が可能
	仕様変更	GT表出力スピードアップ	（2021年6月～）旧バージョンの約2倍のスピードで出力可能
	仕様変更	INDEXシート「検定」シートリンク追加	GT表出力のINDEXシートに検定シートへのリンクを追加
	廃止	グラフオプション	グラフパターン（色、位置）の指定廃止
	廃止	ページ設定	原稿サイズの指定等、印刷設定の廃止
	廃止	表記の変更	全体、無回答表記の変更設定を廃止
廃止	数値回答設定	有効ケース数、合計、平均、標準偏差等の出力項目、小数点以下の表示設定の廃止 ※数値回答アイテムの出力は中央値も含めすべて出力、小数点表示は2桁に統一	
クロス表グラフ作成	新機能	アイテム、質問文検索	アイテム名、質問文名で絞り込み可能
	新機能	設問詳細	アイテム一覧から質問情報の閲覧可能
	新機能	分類アイテム	設定した選択肢ごとに絞り込みされた複数のファイルを出力可能
	新機能	出力キャンセル	実行ボタン押下後、「キャンセル」ボタンを押すことにより出力実行停止が可能
	仕様変更	ウエイトバック設定	「GT表作成」、「クロス表グラフ作成」のいずれかでを行った設定内容を共有、Orgアイテム（既存アイテム）の設定が可能
	仕様変更	クロス集計（出力形式）	初期設定を「1シートに複数クロス表」から「1シートに1クロス表」に変更
	仕様変更	クロス表出力スピードアップ	旧バージョンの約2倍のスピードで出力可能
	仕様変更	出力形式 縦%表示	（2021年6月～）縦%表示形式を追加。横%表示から変更した際の軸・集計対象の項目入れ替えが不要、縦%表示での1シート1クロス表出力が可能に
	廃止	レポートオプション	コメントの表示、Powerpointに出力する、テンプレートの設定、グラフパターン（色、位置等）を廃止 ※折れ線グラフの設定は継続
	廃止	ページ設定	原稿サイズの指定等、印刷設定の廃止
	廃止	表記の変更	全体、表側全体、無回答表記の変更設定を廃止
廃止	数値回答設定	有効ケース数、合計、平均、標準偏差等の出力項目、小数点以下の表示設定の廃止 ※数値回答アイテムの出力は中央値も含めすべて出力、小数点表示は2桁に統一	
廃止	昇降分析	表側間で差がある場合にクロス表上に矢印を表示させる機能の廃止	
FAリスト作成	廃止	ページ設定	原稿サイズの指定等、印刷設定の廃止
	廃止	付加アイテムで昇順に並び替える	オプション設定の廃止、出力後はすべて付加アイテム昇順で並び替える仕様に変更
データ出力	新機能	出力ファイル形式	SPSS Syntax、QuickCross3（旧バージョン機能をご利用になりたい場合等に使用）出力機能の追加
	新機能	分類アイテム	設定した選択肢ごとに絞り込みされた複数のファイルを出力可能
	廃止	Excel2000～2003形式	出力ローデータ形式の廃止、256列ごとに分割機能の廃止
データ結合	新機能	外部データ追加	エクセル、テキスト形式のデータファイルをQuickCrossへ取り込む機能を追加
多変量解析	仕様変更	出力設定保存	各分析機能で出力設定した内容を保存する（GT、クロス表グラフ作成と同様の仕様に変更）
	仕様変更	因子分析	抽出方法の選択メニューを追加（主因子法・最尤法）
	仕様変更	因子分析	初期設定の回転方法を「バリマックス」から「プロマックス」に変更
	仕様変更	因子分析	回転方法「回転なし」のメニュー追加（Quick-CROSS3「因子の回転を行う」のチェックボックスから表記変更）
	仕様変更	因子分析、クラスタ分析、コレスポンデンス分析	計算方式を変更（Quick-CROSS3独自の計算式⇒統計ソフト「R」の計算式を採用する仕様に変更）
	廃止	BSA分析	カテゴリーの持つ要素ごとに重視度（期待度）、満足度を聞く質問分析機能の廃止
廃止	グラフオプション	PSM分析、コレスポンデンス分析、CSポートフォリオ分析のグラフオプションを廃止	
言語切り替え（英語）	新機能	英語切り替え機能	日本語⇔英語に切り替え機能を搭載（画面表示、出力後の各種項目を英語表示へ変更） ※調査票は別途英訳を行う必要があります ※Quick-CROSS3では英語版のご利用には別ソフトのインストールが必要となります
	仕様変更	クロス集計形式	言語を英語へ切り替えると、クロス集計の設定が自動で「横%表示」から「縦%表示」に切り替えが行われる ※英語表記では「Row %（横%表示）」「Column %（縦%表示）」
全般	新機能	旧バージョン形式ファイルからの変換	デスクトップアイコンより起動後、「開く」ボタンより旧バージョン形式（.qc3/.qc3x/.qcg ※）ファイルを選択すると、QuickCross形式（.qc4）へ変換が行われる ※「.qcg」→旧バージョンQuick-CROSS英語版